

香川の 土地改良

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目1番29号
TEL (087) 832-7140
FAX (087) 832-7150
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



かがわ・山なみ芸術祭 2018 AYAGAWA (綾川町)

目次

1. 農業農村整備の集い開催2
2. 平成31年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国議員に要望3
3. 平成30年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会開催4
4. 西讃管内及び中讃管内土地改良事業研修会並びに土地改良相談開催5
5. 「大野原開拓物語り」第六回6
6. 土地改良区だより 高松市一宮土地改良区7
7. 会と催し8

農業農村整備の集い開催



二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長による挨拶

11月14日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

集いには、全国から農業農村整備事業関係者約800名が参加し、本県からは、本会の組橋副会長をはじめ、各地区の土地改良協議会長ら12名が参加した。

集いの開会に当たり、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長は、「我々の背後におられる、国民の食糧を確保するために日夜頑張っている農家の方々に応えていくべく、『闘う土地改良』のもと、予算確保のために土地改良関係者一致団結し取り組んでいく。関係者皆様方の協力をお願いしたい」と挨拶された。

次に、来賓として出席された吉川貴盛農林水産大臣、塩谷立衆議院議員（農林・食料戦略調査会長）、井上義久衆議院議員（公明党副代表）、進藤金日子参議院議員（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問）より祝辞が述べられた後、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より情勢報告があった。続いて、全土連より「基盤整備で農業の生産性を飛躍的に向上させるとともに地域で働く女性の活躍を推進している事例」について発表があった。



吉川貴盛農林水産大臣による祝辞

終わりに「平成31年度当初予算の確保」など5項目の要請書が全会一致で採択され、ガンバロウ三唱で盛会裏に集いは終了した。

終わりに「平成31年度当初予算の確保」など5項目の要請書が全会一致で採択され、ガンバロウ三唱で盛会裏に集いは終了した。



進藤金日子会長会議顧問による祝辞



宮崎雅夫会長会議顧問による情勢報告

平成 31 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国會議員に要望

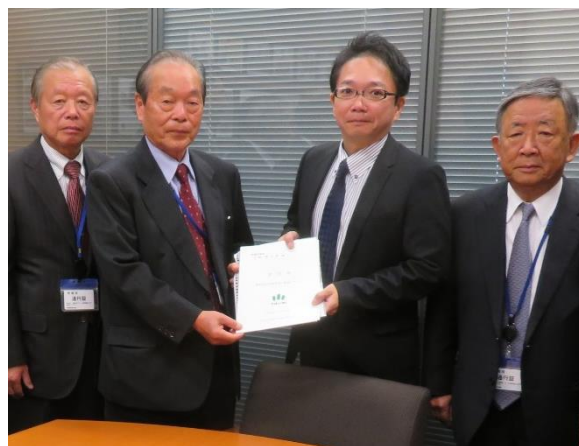
11 月 15 日、県選出国會議員に平成 31 年度農業農村整備事業関係予算の概算決定に向け、本県が直面する課題に対応するため、農業農村整備予算の拡大及び当初予算の確保、農村地域防災減災事業予算の確保、さらに土地改良体制強化支援のための予算確保などについて要望した。



平井卓也情報通信技術（IT）政策担当内閣府特命担当大臣に要望書を提出



磯崎仁彦経済産業副大臣兼内閣府副大臣に要望書を提出



大野敬太郎衆議院議員に要望書を提出



山本博司参議院議員に要望書を提出



進藤金日子参議院議員に要望書を提出

平成30年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会開催

11月5日、丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)において、県、市町、土地改良区、県農業協同組合、県農業会議、農業委員会、県農業共済組合、県農地機構など会員86団体、112名の出席のもと、平成30年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会が開催された。

総会は、山地孝士促進協議会長(本会常務理事)の開会挨拶の後、来賓の西原正彦中国四国農政局農村振興部地域整備課課長、井川一郎香川県農政水産部農村整備課課長から挨拶を頂いた。

その後、議事に移り上程された次の2議案が原案のとおり承認された。

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号議案 | 平成29年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成30年度事業計画について |

また、事務局から会員の市町へ筆図、農業振興地域図、オルソ画像等の最新データ提供をお願いした。

引き続き、藤原稔高松市西植田土地改良区理事長及び本会高橋副主幹から水土里情報の活用事例発表があり、総会は盛会裏に閉会した。

【事例発表】

① 「水土里情報システムの活用について」

高松市西植田土地改良区 理事長 藤原 稔

1. 水土里情報データ(ため池、農道、ほ場整備、農地筆図)等の表示
2. 農業用施設賠償責任保険加入位置図の作成により、加入施設の種別・施設名・延長・地番・プラン等をシステムで管理

《今後の展望》

- ・多面的機能支払対象エリアの把握(市が作成している「認定対象区域図面」との連携)
- ・GISでの施設管理(資産評価、減価償却)

② 「土地改良施設の資産評価及びGIS化について」～複式簿記導入に向けて～

香川県土地改良事業団体連合会 事業課 副主幹 高橋和久

☆資産管理の効率化、記帳誤りや不正の防止、組合員のコスト意識の向上等、複式簿記導入の意義について

☆水土里情報システムを活用した施設管理の進め方を紹介



西原正彦農政水産部農村整備課課長より挨拶



井川一郎香川県農政水産部農村整備課課長より挨拶



藤原稔高松市西植田土地改良区理事長より事例発表

西讃管内及び中讃管内土地改良事業研修会 並びに土地改良相談開催

11 月 21 日に観音寺グランドホテルにおいて、三豊地区土地改良協議会主催による土地改良研修会が、また、11 月 22 日には琴参閣にて、仲多度土地改良事業推進協議会、綾歌土地改良協議会合同主催による土地改良研修会が開催され、併せて両会場において本会の土地改良相談を実施した。

各会場には、各管内土地改良区の役職員が参加し、管内土地改良事務所からの農業農村整備事業の実施状況や予算に関する説明がなされた後、管内農業改良普及センターから集落営農について、また、本会からは土地改良法の改正に関する説明を行った。

土地改良相談では、平成 30 年 6 月 8 日に公布、平成 31 年 4 月 1 日から施行される土地改良法の一部改正に関する「複式簿記導入における貸借対照表等の決算関係書類の作成及び公表」、「土地改良施設の資産評価」等についての質問が挙げられた。

各土地改良事務所長をはじめとし、知識と経験が豊かな管理専門指導員がこれらの質疑応答に当たり、各相談事項に対し回答がなされた。

土地改良相談後、両日とも「農業農村整備の今後の展開方向」と題して、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より講演が行われた。



西讃管内 土地改良相談



中讃管内 土地改良相談



西讃管内研修会にて講演する宮崎雅夫会長会議顧問



中讃管内研修会にて講演する宮崎雅夫会長会議顧問

大野原開拓物語り

おおのほら
かいたくものがたり

第六回 平田家に救援を依頼

「四国作家」同人 平井 忠志

井関池の決壊は、京の平田与一左衛門のところへ、手代の庄三郎に急報させました。庄三郎が帰ってきたのは七日ほど後でした。その晩、仲間たちは備中屋簾左衛門の屋敷に集まりました。

「庄三郎、平田殿から何かいい話があったか」

「我々の借用した銀子の返還は、一年棚上げにしてもらえるのだろうか」

三島屋と松屋が口々に問いかけるが、庄三郎は黙って首を横に振るだけでした。

「主人は、皆様方の考えが甘すぎると、大変ご立腹の様子でした。皆様方には一人一町歩の田畑をあてがってある。生活費はすべて私費で賄うようとの、ことです」

「それはちと酷い。一町歩あっても、半分は作男の賃金で消えてしまうわ」

三島屋が庄三郎に掴みかからんばかりに激高しました。

「かく言う私も給金無しで、皆様と同様に一町歩で生活するよう申し渡されました」

簾左衛門は静かにうなずきました。

「それで井関池の復旧費はどうなった」

「井関池は少々小さくしてでも、あと銀二百貫で、来春までに復旧せよとのことでした」

井関池の復旧はその年の十一月に始まりました。あの決壊さえなければ、今頃は三十町歩の水田に黄金の稲穂が重く垂れているはずでした。百姓たちの逃亡が続きます。

百姓たちにしてみれば、水の確保も出来ないまま、食うや食わずの生活では約束が違うと言いたいところでしょう。

簾左衛門は腹をくくって、非常手段に訴えることにしました。

「三島屋、庄三郎、明日から入植の百姓たちを、すべて井関池復旧の工事人夫に雇いあげる」

意表を突いた簾左衛門の指令に、三島屋がいぶかりました。

「賃金はどうします」

「むろん払う。望むなら女手も工事現場の飯炊きや、薪拾いに雇い上げよう」

簾左衛門の構想は、入植の百姓たちに予想以上の好評を受けました。夜逃げの相談までしていた連中にとっては、思わぬ現金収入の朗報でした。



井関池から大野原方向を望む

～土地改良区だより～

高松市一宮土地改良区は、昭和 44 年 4 月 11 日に設立認可を得て設立された。高松市南部地区の中心に位置し、地区範囲として成合町、一宮町、鹿角町、三名町、寺井町の 5 町と円座町川向地区から成り立っている。東に国道 193 号線が南北に走り、西は国道 32 号線が通っている。当地域は農家と非農家の混住化や市街化地域の拡大が進む反面、いたるところに伏流水が豊富に湧出した出水・涌水があり、また、香川用水や辻堂池、行寺池からの用水により、水稻・麦を主幹とした野菜複合経営が盛んに行われている。

この地域には、水を司る神様である龍神が祀られている讃岐国の一の宮「田村神社」がある。その昔、領内に洪水や干ばつによる災害があれば、領主奉行は必ず先にこの田村神社に祈願したという。本殿の裏側にある奥殿の床下には「定水井」と呼ばれる深淵があり、真夏でも冷たい空気が流れており「底なしの深淵」とも呼ばれている。そこに「定水大明神」という龍神が住んでいるといわれているため、決して覗いてはいけないとの言い伝えが残っている。社殿には『龍体で示現なすとの伝えある田村の神は水の大神』という御神歌があるほど、古来より当社そのものの清浄なる出水により、当地域を豊かに潤している。また、香東川の伏流水による幾筋もの細流が当地域の灌漑の便を担い、地域の人々は井堰や出水を作り、発展させてきた。そして平成 21 年度には団体営事業で一宮上所地区、平成 23 年度には上井地区水路改修工事を行っている。また、平成元年度～5 年度にかけて辻堂池を団体営老朽ため池整備事業、平成 17、18 年度には行寺池が県営ため池等整備事業で改修が行われている。

現在、当地域は往昔の藁葺家屋の点在した田園風景から一変、加速化する団地造成や宅地化により密集型集落となり発展を遂げているが、農業分野においては受益面積の減少が顕著になっている。今後も厳しい農業情勢であるが、これからも三笠理事長をはじめ役職員一丸となり、門前町の風情を残しつつ商業と農業のバランスの取れた地域を目指し、更なる発展に努めていく。

高松市一宮土地改良区



辻堂池



墓ノ井出水親水公園



三笠 輝彦理事長

土地改良区の概要

所在地 高松市一宮町 616 番地 2

団体表彰

昭和 28 年 3 月 全国土地改良事業団体連合会 金章

昭和 22 年 3 月 全国土地改良事業団体連合会 銀章

昭和 13 年 3 月 全国土地改良事業団体連合会 銅章

受益面積：232ha

組合員：721 名

理事：15 名 監事：3 名



位置図

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
11月5日	水土里情報利活用促進協議会協議会幹事会、総会	丸亀市
11月12日	年金委員・健康保険委員研修会	高松市
11月14日 ～15日	農業農村整備の集い及び農林水産省等への要望活動	東京都
11月14日 ～16日	実践技術研修品質向上コース（品質向上）	岡山市
11月20日	中国四国管内農林水産大臣表彰選考委員会	岡山市
11月20日 ～22日	中国四国農政局講習会 GIS技術	岡山市
11月21日	西讃管内土地改良事業研修会	観音寺市
11月22日	中讃管内土地改良事業研修会	善通寺市
11月26日	中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	鳥取県

